

製品名: CUL-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09532**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	87kDa

抗原情報

遺伝子名	CUL2
別名	CUL2; Cullin-2; CUL-2
遺伝子 ID	8453.0
SwissProt ID	Q13617
免疫原	抗血清はヒト Cullin 2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 696-745

背景

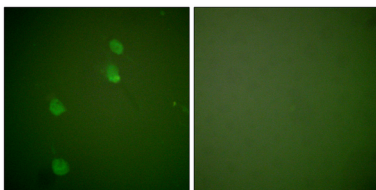
機能: 複数の cullin-RING ベースの ECS (ElonginB/C-CUL2/5-SOCS-box タンパク質) E3 ユビキチン - タンパク質リガーゼ複合体の中核成分であり、標的タンパク質のユビキチン化を媒介します。複合体内で強固な足場として機能し、基質およびユビキチン結合酵素

の配置を介して触媒に寄与する可能性があります。複合体の E3 ユビキチン - タンパク質リガーゼ活性は、cullin サブユニットの neddy 化に依存しており、非 neddy 化された cullin サブユニットと TIP120A/CAND1 の結合によって阻害されます (類似性による)。ECS 複合体の機能特異性は、基質認識成分に依存します。ECS (VHL) は、低酸素誘導因子 (HIF) のユビキチン化を媒介します。経路: タンパク質修飾; タンパク質のユビキチン化。PTM: CBC(VHL) 複合体の形成は、neddy 化を促進するようです。COP9 シグナロソーム (CSN) 複合体との相互作用を介して脱 neddy 化されます。類似性: cullin ファミリーに属します。サブユニット: CUL2、Elongin BC (TCEB1 および TCEB2)、RBX1、および可変基質特異的アダプターから形成される複数の ECS (Elongin BC-CUL2/5-SOCS-box タンパク質) E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の構成要素。VHL を含む ECS(VHL) または CBC(VHL) 複合体の構成要素。推定基質認識構成要素 MED8 との ECS(MED8) 複合体の構成要素 (類似性による)。推定基質認識構成要素 PPIL5 との ECS(PPIL5) 複合体の構成要素。CUL2、RBX1、TCEB1、TCEB2、FEM1B を含む、おそらく ECS E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の構成要素。ZYG11B、CUL2、Elongin BC を含む E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の一部。ZYG11BL、CUL2、Elongin BC を含む E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の一部。RBX1、RNF7、FEM1B、TIP120A/CAND1 と相互作用。COPS2 および MED8 と相互作用 (類似性による)。ヒト呼吸器合胞体ウイルス (HRSV) タンパク質 NS1 と相互作用する。機能: 標的タンパク質のユビキチン化を媒介する、複数の Cullin-RING ベース ECS (ElonginB/C-CUL2/5-SOCS-box タンパク質) E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ複合体の中核成分。複体内で強固な足場として機能し、基質とユビキチン結合酵素の配置を介して触媒反応に寄与する可能性がある。複合体の E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ活性は Cullin サブユニットの Neddy 化に依存しており、脱 Neddy 化された Cullin サブユニットと TIP120A/CAND1 の結合によって阻害される (類似性による)。ECS 複合体の機能特異性は、基質認識成分に依存する。ECS(VHL) は、低酸素誘導因子 (HIF) のユビキチン化を媒介します。経路: タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。PTM: CBC(VHL) 複合体の形成は、neddy 化を促進すると思われ。COP9 シグナロソーム (CSN) 複合体との相互作用により、脱 neddy 化されます。類似性: cullin ファミリーに属します。サブユニット: CUL2、Elongin BC (TCEB1 および TCEB2)、RBX1、および可変基質特異的アダプターから形成される複数の ECS (Elongin BC-CUL2/5-SOCS-box タンパク質) E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の構成要素です。VHL を含む ECS(VHL) または CBC(VHL) 複合体の構成要素です。ECS(PPIL5) 複合体の構成要素であり、基質認識構成要素 PPIL5 と推定される。CUL2、RBX1、TCEB1、TCEB2、FEM1B を含む ECS E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ複合体の構成要素である。ZYG11B、CUL2、Elongin BC を含む E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ複合体の一部である。ZYG11BL、CUL2、Elongin BC を含む E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ複合体の一部である。RBX1、RNF7、FEM1B、TIP120A/CAND1 と相互作用する。COPS2 および MED8 と相互作用する (類似性による)。ヒト RS ウイルス (HRSV) タンパク質 NS1 と相互作用する。

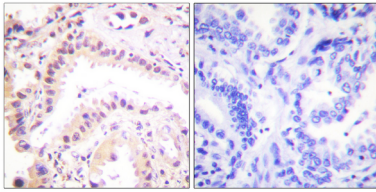
研究分野

ユビキチンを介したタンパク質分解、がんにおける経路、腎細胞癌

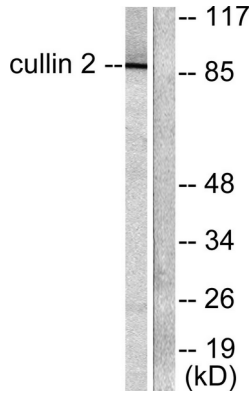
画像データ



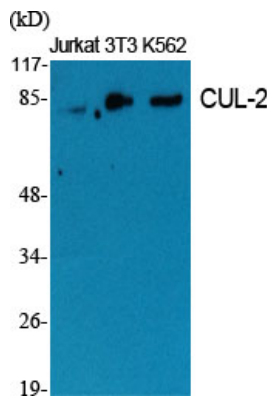
Cullin 2 抗体を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



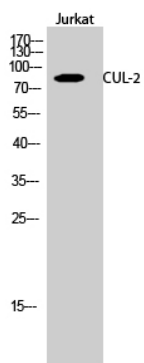
Cullin 2抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



Cullin 2抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CUL-2 ポリクローナル抗体 (1: 2000 希釈) を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析



CUL-2 ポリクローナル抗体 (1: 2000 希釈) を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析